

雲仙プロジェクト通信 6号

平成23年10月15日（金）

『第4回 吾妻の巻』

皆さま、こんにちは、^{※1}SKEの中川夏希です。9月17日から18日一泊二日で、『雲仙プロジェクト～吾妻の巻～』に参加させて頂きました。参加者と主な訪問先は以下の通り。私の個人的な感想にて、ご紹介させていただきます。

●吾妻の巻 参加メンバー



山下 建郎さま。（SKEメンバーの1人。通称：ヤマタツさん）ちょっとうるさいセクハラオヤジ。現在、パートナー募集中です。

矢ヶ部 さま。（共助研音楽班班長）噂には聞いていましたが、ほれほれする指使い……。いつか私もコラボしてみたいです。

中川 夏希。共助研新入会員。5歳と3歳の娘を夫に任せ、今回は一人で参加です。

武一 明子さま。（通称：姉さん。私が勝手に呼んでいます。）環境保全への想い、とても尊敬します。そこら辺の酒好き・釣好きの姉さんではございません！

岑 さま。（美食家）とにかく熱い！何事も経験豊富で、いつも勉強させて頂いております。ことも好きとのことですので、うちのやんちゃ娘×2名をよろしくお願ひします。

木寺 佐和記さま（第6回隊長）「滋養強壯に効く！」と言われている物は何でも試されています。二ヒルな笑顔が素敵です。



●腹ごしらえ

岑さんの事前調査により、今回の腹ごしらえは「手打ち信州そば 細麺 さくら」。ジャズが流れる蕎麦屋さんで、私が食べたのは「並盛」。男性には腹八分目のようでした。蕎麦はミネラルが豊富で、うつ病に良いらしい（もちろん蕎麦湯も）です。おいしいおそばを頂いて、いざ竹添ハウスへ！



●竹添ハウス到着

竹添ハウスでは、タケソウくんがお出迎え。すでに「柴北川を愛する会」渡辺様ご夫妻が大分から到着されており（千々石と犬飼は国道57号線で繋がっている！）、千々石の方々と談笑中。福岡チームの到着を待って、早速「第4回 吾妻の巻」がスタート。まずは、チーム・ギアの松本さまよりご挨拶。続いて、共助研について木寺さま、柴北川を愛する会について渡辺様より説明。参加者の自己紹介は後程ということで、車に乗りこみ、牧場の里あずまを目指しました。



●牧場の里あずま

牧場の里あずまへの道中、青空の下、真っ白い風車もまわって爽快な気分です。地元参加者の「きくちゃん情報」によるとこれは諫早在住の方の個人の持ち物であるとのこと。（設置するのに、3億円程度に費用が掛かるそうです。）また、車窓には橋湾やのんびりと放牧されている牛の群れ。こころが穏やかな気持ちになりました。



※1 株式会社エスケイエンジニアリングの略称。AKB48にブームに乗り『SKE52』を勝手に作りました。“52”は平均年齢か！？

●守山女性部加工組合

お忙し中、代表理事の馬場様より雲仙こぶたかなに込めた想いについてお話を頂きました。イタリアプレシディオ認定食材に選ばれた理由本当によくわかりました。共助研の立場でお手伝いできることを頑張らなければ・・・と思いました。現状の課題として、馬場様をはじめ組合員の方が、事務作業、現場作業、営業等全てにおいて活躍されており、睡眠時間が3から4時間程度とのこと。体力的にも組合としても、限界を超えているようです。



●千々石ドライブ後「茜の湯」へ

地元の方のお話を車の中で伺いながら、茜の湯を目指しました。夕日が海に沈む前にどうにか到着し入浴開始。(料金：300円、石鹸シャンプー等は使用できません。)入浴途中、料金所のおじさんが、「夕日が沈むまであと20分位かな〜。」とご親切に教えてくださいました。配布されている「小浜のこぶみ」に「小浜温泉夕日の時刻表」が掲載されています。



●竹添ハウスでスローフードディナー

竹添ハウスに戻り、先ほど見学させていただいた「守山女性部」こだわりのお弁当を頂きました。また、松本様の故郷「宮城の焼酎」や、福岡チーム持ち寄りの酒の肴で、お腹いっぱいとなりました。21時でいったん終了したスローフードディナーに引き続き「夜なべ談義」。次々と就寝する方々に「おやすみなさい!」と元気に声を掛け、最後まで(朝方4時)盛り上がり続けたのは、矢ヶ部さん、峯さん、武市さん、中川の計4名。日頃10:00には就寝する私も、久しぶりに羽目を外してしまいました。



●二日目突入

6時半起床・・・朝ごはんは^{※2}田中鮮魚卸の「エイ茶漬け」。エイの鱧のお茶漬けで、峯さんご推薦。エイの臭みなんて全く無く、コリコリとした触感が最高に美味しい。贅沢にたっぷりののせていただきました。



●教えて！天野先生（千々石歩記）

先生が撮影された写真や、収集された千々石の歴史的資料を見ながら、千々石の昔と今を勉強しました。その後、実際に千々石のまち歩きをしながら、湧水と共にゆっくりと流れる千々石の時間を満喫しました。



※2 (有)田中鮮魚卸 (TEL: 0957-75-0734) <http://ippuboshi.jp/tushin> 電話及びFAX注文のみ可。詳しくはHPをご参照ください。

●小梅で昼食

千々石歩記でお腹が空いた一行は、地元の素材をおいしくお手頃価格で食べさせてくれる小梅へ。夜は近隣市町からの常連客でカウンターが埋まるとのこと。夜ではなく、昼間から飲んでる人が一行の中にちらほらと・・・。



んんん!?これはビール?→

●旅のおさらい会

さてさて、いよいよ「吾妻の巻」が終わろうとしております。竹添ハウスに戻り、今回のおさらい会が始まりました。地元参加者と共助研メンバーとの意見交換会。様々な想いが溢れました。

さて、共助研に入ってHP以外の初仕事となった今回の「吾妻の巻」もそろそろ終わろうとしています。地元の方々に教えていただいた「千々石の歴史」や見どころ、地元への愛着心、勉強させていただきました。田舎と都会の交流・・・、さて、私が千々石のためにできることは何だろう？自問自答しながら帰路に就きました。長崎県出身の私にとって、千々石の新しい魅力を再発見できた今回の勉強会、これからの千々石が今まで以上に魅力的になるよう、共助の力で頑張っていこうと思います。

千々石観光のパンフレット

